

生活支援センターとは？

ヘルパーの資格を持っていなくても、標準型訪問サービスに従事し、支援が必要な方に対して、掃除・洗濯などの軽易な生活援助サービスを提供することができます。

なぜ生活支援センターが必要なの？

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送りたいと思っていても、「足が痛くてごみを1階の集積場まで持つて下りれない…」「重いからお米を買いに行けない…」などの困りごとを抱えている高齢者の方がたくさんいらっしゃいます。

しかしながら、生活支援センターがごみ捨て、買い物、掃除などの軽易なお手伝いをすることで、引き続き住み慣れた地域で暮らし続けることができます。



こんな方にオススメ

- 介護の仕事に興味がある
- すきま時間に何かしたい
- ちょっとしたお手伝いで地域に貢献したい
- ボランティアをはじめたい
- 地域での絆を深めたい
- 生きがいを見つけたい
- 特技を活かしたい



尼崎市社会福祉協議会園田支部

園田地区地域福祉ネットワーク会議（協議体）からのひとこと

地域福祉ネットワーク会議（協議体）では、住み慣れた地域で安全・安心に暮らし、支えあいができる地域づくりを進めています。生活支援コーディネーターが中心となって、地域住民、尼崎市、専門職が自由に話し合う場です。

今年度は、住んでいる地域の困りごとを考えながら、自分にできること、やりたいことを一緒に考える講座を開催します。「自分の特技や経験を発揮したい」と考えている方は、参加してみませんか？協議体のメンバーが、みなさんをサポートします。これから園田地区と一緒に盛り上げていきましょう。

修了者の活動紹介

支え合いの会 つなげばそのだっち 活動者の声

代表Fさんの声

依頼してくれた人が喜んでくれることに、支えあい活動のやりがいを感じています。お互いさまの気持ちを大切にして、日々活動をしています。

メンバーKさんの声

ご近所さんとつながる気持ちを大切にし、支えあいながら、安全・安心に暮らすことができる地域になれば嬉しいです。



講師紹介

- 1 講義の重要なポイント
- 2 受講者にひとこと

岡田久子氏 onlyone 代表



「制度理解」「チームケア」「職務の理解」（各 60 分）
「老化と疾病についての理解と介護予防」（150 分）

- 1 制度や疾患など難しく感じる事も多くあるかと思いますが、利用者さんやセンターさんを守る大切な事でもありますので苦手と感じないようお伝えしたいと考えています。
- 2 利用者さんの一番身近な最強の味方になっていただきたいです。

稻松真人氏

兵庫県対人援助研究所 主宰



「本人や家族とのコミュニケーション」（180 分）

- 1 「社会福祉とは？」というところから、「対人援助」という「人間関係」におけるコミュニケーションについて、学びたいと思います。
- 2 あまり難しく考えず、研修を前向きに楽しむ姿勢を大切に。知識をインプットするだけでなく「考える」ということを意識してください。

中林弘明氏

株式会社シルバージャパン
代表取締役



- 1 超高齢社会に向けて、自立した生活とは、支援をするってどんな支援のことなのか等、介護保険制度から実践について、また、歳を老いても、元気で健康長寿を目指すポイントを学んでいただきます。
- 2 尼崎市で介護保険制度開始から 24 年間ケアマネジャーとして関わってきた経験を通して、わかりやすくお話しします。

太田吉彦氏

（ビデオ講義・テキスト監修）太田川口法律事務所 弁護士
成年後見等支援センター職員



「高齢者等の尊厳の保持」（120 分）

- 1 私たちの国、日本の法律の「King of Kings」は「憲法」です。では、その憲法の「King of Kings」は何なのか、皆さんご存じですか？それは、第 13 条（幸福追求権）です。
- 2 お世話する人もされる人も（この講習に参加する方もされない方も）、今より、ほんのわずかでも、「幸福」を感じられれば良いがなあ、と思います。

あま社協ホームヘルプサービスセンター管理者、他
「尼崎市の現状」（60 分）

